

## 会 議 録

会議の名称	平成26年度 第1回行田市行政改革推進委員会
開催日時	平成26年7月18日(金) 開会：午後1時30分                      閉会：午後3時
開催場所	市役所305会議室
出席者氏名	阿久津彰男委員、大久保毅委員、大平敏江委員、櫛引浩士委員、長島益世委員、野口啓造委員、政田光生委員、宮田淑尚委員、茂木美智代委員
欠席者氏名	なし
事務局	井澤総合政策部長 企画政策課：岩田企画政策課長、浅見政策推進幹、大木主査
会議内容	司会 岩田課長 議事 (1) 行財政改革のこれまでの取組について (2) 行財政改革の今後の取組みについて (3) その他
会議資料	○行田市行政改革推進委員会委員名簿【資料1】 ○行田市行政改革推進委員会設置条例【資料2】 ○行財政改革と財政健全化のこれまでの取組【資料3】 ○財政シミュレーション【資料4】 ○行財政改革の取組について【資料5】
その他必要事項	傍聴者 なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p><b>1 開会</b></p> <p><b>2 委嘱状の交付</b></p> <p><b>3 市長あいさつ</b></p> <p><b>4 委員紹介</b></p>
司 会	<p>（1名ずつ委員名を讀上げ、それぞれ自己紹介。その後、職員紹介。）</p> <p><b>5 会長の選出及び会長職務代理者の指名</b></p>
司 会	<p>・続いて、本委員会の会長の選出であるが、その前に、本委員会の運営について簡単に説明させていただく。</p> <p>（資料2 行田市行政改革推進委員会設置条例により説明）</p> <p>・それでは会長の選出を行う。会長は委員の互選によることとなっている。本委員会の会長について、どなたか意見があるか。</p>
委 員	<p>・阿久津委員にお願いしたい。</p>
司 会	<p>・ただ今、阿久津委員を会長に推薦する意見が出されたが、皆さんいかがか。</p> <p>（全会一致で了承）</p> <p>・それでは、阿久津委員に会長をお願いしたい。阿久津会長には、会長席へ移動いただき、会長には、職務代理者の指名をお願いしたい。</p>
阿久津会長	<p>・大久保委員を職務代理者として指名したい。</p>
司 会	<p>・大久保委員、いかがか。</p>
大久保委員	<p>・了解した。</p>
司 会	<p>・それでは、大久保委員に会長職務代理者をお願いする。</p> <p>・阿久津会長には、一言あいさつをお願いしたい。</p>
阿久津会長	<p>・この度は、本委員会の会長職を拝命し、大変名誉であると同時に責任の重さを痛感している。</p> <p>・これまでも行田市は、様々な行政改革に取り組んでいると思うが、本委員会も引き続き改革の進展を見極めつつ、日ごろ気づいた点や大所高所からの建設的な意見などを、様々な視点から審議して参りたい。</p> <p>・委員の皆様には、忌憚のない意見・提言をいただくようお願いし、あいさつとする。</p>

	<p><b>6 行財政改革指針の諮問について</b></p> <p>(市長より阿久津会長に行財政改革指針に対する諮問書を提出)</p> <p>(市長退席する)</p> <p><b>7 議事</b></p>
司 会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早速、議事に入らせていただく。ここからは、委員会設置条例第5条の規定に基づき、会長に議事の進行をお願いする。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは、暫時、議長を務めさせていただく。議事の円滑な進行に皆さんのご協力をお願いする。</li> <li>・まず、会議録について事務局の説明をお願いする。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議録は委員名を伏せ、要点筆記とし、市政情報コーナー及び行田市のホームページで公開する。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次に、本日の会議の公開について確認させていただく。本委員会の会議の開催については、これまでも原則公開で実施している。今回委員の改選があったが、これまでどおり公開することで皆さんよろしいか。</li> </ul>
委 員	<p>(異議なし)</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、非公開事項がある場合にはその都度会議に諮って決定することとしたい。</li> <li>・事務局に伺う。本日の審議内容に、非公開とすべき事項はあるか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特段、非公開とすべき事項はない。</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非公開事項はないとのことであり、公開して会議を進める。</li> <li>・議事の(1)「行財政改革のこれまでの取組について」、及び議事の(2)「行財政改革の今後の取組について」、一括して事務局の説明を求める。</li> </ul>
事 務 局	<p>(資料3「行財政改革と財政健全化のこれまでの取組」、資料4「財政シミュレーション」及び資料5「行財政の今後の取組みについて」により説明)</p>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいま事務局から説明があったが、内容についての意見や質問があれば発言いただきたい。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4の「財政シミュレーション」について、現在の少子高齢化の状況を考慮すると、予測よりもさらに財政収支は悪くなると思う。資料3「行財政改革と財政健全化のこれまでの取組」の3ページに</li> </ul>

<p>事務局</p>	<p>これまでの事務事業の見直しが紹介されているが、削減効果額が少額のものが多い。今後もっと抜本的な削減を考えないと改善はされないのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞等に頻繁に掲載されている少子高齢化について、このような現状を市当局はどう考えているのか、今回示された資料からは見えてこない。市は財政をどのように立て直すかを考えないと、行田市は破綻してしまうのではないかと思う。</li> <li>・例えば資料４の「財政シミュレーション」に記載されている平成３３年の収入が２３３億円であれば、歳出も同等にしなければならないと思う。</li> <li>・委員のいうとおり、今後の自治体運営で一番の問題と言われているのが、人口減少化と少子高齢化である。行田市でも、合併以来７年間で約４，２００人減少している。</li> <li>・本市においても人口減少対策については、平成２５年度に行田市定住促進基本計画を定め、「住む、育む、働く」の３つのキーワードを基に総合的に取り組んでいる。はじめに「住む」の分野では、昨年度から若い子育て世帯を本市に呼び込もうと、本市に住宅を取得して定住した世帯に奨励金を交付している。昨年の実績は７０世帯、２４０人の若い世帯が行田に住み始めている。また「働く」の分野では、市内に企業を誘致するために様々な企業立地奨励金を用意している。昨年は４社の新規参入と２社の増設があった。さらに「育む」の分野では、子供の幸せを図るための施策として、現在小中学生の医療費の無料化を行っている。また教育の分野も少人数学級編成の拡大や教室のエアコン設置など様々な対策をとっている。</li> <li>・資料４の「財政シミュレーション」については、あくまでも試算であり、当然こうならないために予算配分時、事務事業の見直し時などに様々な対策を打つ必要があると認識している。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料４の「財政シミュレーション」を見たが、歳入の市税収入額を歳出の人件費と扶助費だけで殆ど占めてしまっている。市税だけでは他の施策が出来ないということなのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市税は自治体の歳入の根幹をなすもので、以前は市の歳入の５０％を占めていたが、現在は４０％位になってしまっている。委員の指</li> </ul>

<p>委員</p>	<p>摘のとおり、市税を始めとする歳入の確保と、人件費や扶助費の抑制はセットで行財政改革を行うべきであると認識している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は以前、他の審議会に参加した経験があるが、プランを作成するだけではなく、プラン策定後にいわゆるPDCAを行う必要があると考える。またその審議会の後、事務局でプランの冊子を作成したが、大変立派な装丁であった。こんな立派な冊子ではなく、皆の意見を聞いて中身がしっかりしたものを作ればそれで十分である。</li> <li>・他の委員の発言にあったが、人件費と扶助費のみで市税収入の殆どを占めている状況であるので、市の職員も民間の考え方を導入しながら、効率を考えて業務を行うべきである。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の職員についても民間の経営手法の考え方や、効率性や効果を考慮した上で業務を行うことは必要と考えている。今後行財政改革指針の策定と並行して、その指針に基づく個別具体的な取り組みを位置づけるプログラムを策定する。その中で個々の取り組みについて効果額が算定できるものについては、毎年集約、検証して、委員の皆さんにご覧いただき、ご意見をいただきたいと考えている。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3「行財政改革と財政健全化のこれまでの取組」の左上のグラフに借入金残高の推移があり、7年間で40億円削減したとある。さらにその下のグラフに公債費の推移とあり、平成25年度に40.8億円とあるが、これは別の借金なのか。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料3の左下のグラフは公債費であり、毎年市が返済する額のこと。この返済金が借金残高に応じて少しずつ減少していることを表している。</li> </ul>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在全国で人口が約1億2千万人であるが、50年後には8千万人まで減るとも言われており、国が政策により1億人に留めようとしている。そのような人口減少社会の中で、行田市は転入者より、転出者が多いと聞いている。行田市には魅力が足りないのか、もっと魅力のある市を目指さないと人口は増えてこない。人口減少を食い止めるためにも対策を打ってほしい。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市では平成25年度から他市町村に先駆けて総合的な人口減少対策を行っている。また庁内の職員で定住促進委員会を立ち上げ、状況を検証し、本市の魅力を全体的に高めていく施策を行っている。</li> </ul>

	<p>ただし総花的に全て行うのではなくて、「選択と集中」を行いながら、環境資源、自然資源、歴史資源など本市にしかない魅力もあるので、その強みをPRしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そのためには、この委員会で推進していく行財政改革は、無くてはならないものだと考えている。先程示した「財政シミュレーション」の数字も、人口減少が進行するとさらに厳しい状況になる可能性もある。今現在起きていることに目を背けることなく、財政の収支バランスも考慮して改革を行っていきたい。次回の会議で、行財政改革の指針案、またそれに基づくプログラムの骨子案を示していくので、委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただき、一体となって改革に取り組んでいきたいと考えているので、よろしく願います。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出来るだけ資料を提示してもらい、皆さんの意見を聞き、活発な会議になればと思っている。今後のスケジュールを見るとこの会議は全3回の会議なのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指針の策定まで3回程度を予定している。また皆さんのご意見を伺い会議のご案内させていただく。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局では3回程度の会議を予定しているとのことだが、会議の内容によっては回数を増やして取り組んでも良いと思う。</li> <li>・皆さんの話を聞いたが、行田市の魅力をどのように発信していくかということが大切である。行田市はPRが上手くないと思う。行田の魅力をどのように活かしていくか、マスコミ等を通じて行田の魅力を感じさせる取り組みが大切だと思う。</li> <li>・私から一点意見がある。行田市には様々な施設があるが、受益者負担を考慮して利用料を検討して欲しいと思う。市民も税を納めているから無料でいいという考え方ではなく、自ら汗を流すことも考え、自分たちでやれることはやる、足りない場合は行政に助けてもらう、こういう意識がないと歳出は減少しないと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私からも提案がある。行田市の人口増減と企業進出について、資料を作成してみた。行田市には3つの工業団地があり、主なところで36社の企業が進出し、操業しているにもかかわらず、人口は合併直後から約4200人も減少している。行田市で企業誘致を行っているのであれば、現状を詳しく調べ、なぜ工業団地に多くの企業が</li> </ul>

<p>議長</p> <p>事務局</p> <p>議長</p> <p>事務局</p>	<p>進出しているのに、人口が減少しているのかを検証し、今後の人口増加に結び付けていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他に、中古住宅や空き家等を活用し、若年層に行田市は住宅が取得しやすいことをPRすること、またJR行田駅に高崎線湘南新宿ラインの朝夕の停車回数を増やし、より多くの列車を停止させ、東京方面への交通の利便性を高めることなどが人口増加に向けて必要だと思う。</li> <li>・委員の言われたとおり、近年行田市では工業団地を造成し、多くの企業が進出しているが、業種を見ると倉庫業、運送業が多い。やはり製造業の進出と比べると、そこで発生する税収は少ない。提案を受け今後の対策にしていきたいと思う。</li> <li>・それでは（3）その他ということ、事務局から何かあるか。</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の会議の日程を決めさせていただく。 (委員の予定から8月4日午後で開催が決定した)</li> </ul> <p>議長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以上をもって本日の議事すべてを終了とし、これをもって議長の職を解かせていただく。</li> </ul> <p>事務局</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回委員会の詳細については後日改めて通知し、併せて事前に資料を配布させていただく。以上をもって、本日の行政改革推進委員会を閉会する。</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt; 閉会 &gt;</p>
---	--